



夏

Summer

お祭りや花火大会を
夏酒と一緒に。美や健康にも良いとされ、夏の暑さを日本酒がスッキリとさせます。

日本酒で楽しむ



冬

Winter

出雲の厳しい冬の寒さを
冬酒と一緒に。温められた日本酒は、また格別の味わいです。

出雲までの
アクセス

いずもし
出雲市



●東京	航空便(JAL).....	1時間20分	出雲緑結び空港
	新幹線+特急やくも.....	6時間30分	出雲市駅
	寝台特急サンライズ出雲.....	12時間	出雲市駅
●大阪	航空便(JAC).....	45分	出雲緑結び空港
	新幹線+特急やくも.....	4時間	出雲市駅
	高速バス(阪急梅田-新大阪).....	5時間30分	出雲市駅
●福岡	航空便(JAC).....	1時間10分	出雲緑結び空港
	新幹線+特急スーパーおき.....	4時間30分	出雲市駅
	高速バス(博多バスターミナル).....	9時間	出雲市駅
●広島	自動車.....	5時間30分	出雲市駅
	高速バス(広島/バスセンター).....	3時間	出雲市駅
●岡山	自動車.....	2時間30分	出雲市駅
	自動車.....	3時間	出雲市駅



お問い合わせ 出雲市経済環境部観光課
〒693-8530 島根県出雲市今市町70番地
TEL.0853-21-6588 FAX.0853-21-6585

日本酒発祥の地

出雲

こ縁を結ぶ出雲の酒



春

Spring

お花見や、
新しい出会いを
春酒と一緒に。
お酒を酌み交わし
こ縁を結びます。



出雲の四季を

秋

Autumn

錦秋を彩る出雲の地で
秋酒と一緒に。
ひやおろしや秋あがりと呼ばれ、
気温や嗜好に合った
味わいが魅力です。



出雲大社

神々の国出雲に、厳かな姿を今に残し、八雲山の麓に鎮座する出雲大社。

日本最古の歴史書である『古事記』に記載されている、「大國主大神が天照大御神に国を譲った際に造営された壮大な官殿」が、出雲大社の始まりとされています。

神在月について

出雲地方では旧暦10月を「神在月」と呼びます。全国で神無月とされるこの月、八百万の神々がここ出雲の地にお集まりになるとされているからです。

「神在月」に集まられた神々は男女の縁組みや人々の人生諸般について会議をされると言われています。

出雲神楽と酒



日本酒発祥の地 出雲

大土地神楽
演目:「八戸」

出雲神楽では、須佐之男命がヤマタノオロチを酒で酔わせ退治する演目が神々に奉じられます。

「古事記」「日本書紀」に記される「ヤマタノオロチ伝説」や「出雲国風土記」にみえる「佐香郷での酒造り」などの出雲神話からは、古来より出雲の地で酒造りが行われてきたことがうかがい知れます。これが、出雲が日本酒発祥の地とされる所以です。

日本酒発祥の地で味わう出雲の酒は、深い歴史と古代のロマンを感じさせます。

佐香神社 (松尾神社)



「出雲国風土記」に「この地に神々が集まって酒造りを行い、長い間にわたり酒宴を開いた」と記される古社です。毎年10月13日には造りたての酒を奉納する、例祭(どぶろく祭)が行われています。

万九千神社



「神在月」に全国から集まった神々が、神議を終えた後、最後にお立ち寄りになる神社です。神々はこの地で直会(なほらい)と呼ぶ宴会を催し、酒を酌み交わって帰途に就くとされます。

旧暦10月26日には「まんくせんさん」「からきでさん」と呼ばれる祭りが行われます。

酒造りの風景

出雲の地には酒造りに大切な3つの要素が備わっています。

- 1、きれいな水を育む豊かな自然
- 2、その水で作られた高品質な酒造好適米
- 3、古来からの伝統と確かな技術を受け継ぐ杜氏

出雲の水と米と杜氏の技術により、今なお香り高い出雲の酒が造られています。



歴史と技術を現在に伝える

出雲の酒蔵



板倉酒造有限公司

〒693-0021 島根県出雲市塩冶町468番地
TEL:0853-21-0434 《見学》可・要予約《時期》5月~9月



富士酒造合資会社

〒693-0001 島根県出雲市今市町1403番地
TEL:0853-21-1510 《見学》不可 *試飲販売可能



旭日酒造有限公司

〒693-0001 島根県出雲市今市町662番地
TEL:0853-21-0039 《見学》可・要予約《時期》通年・要相談



株式会社酒持田本店

〒691-0001 島根県出雲市平田町785番地
TEL:0853-62-2023 《見学》可・要予約《時期》通年